

こんにちはかとう直人です



近頃、初めて会う人に共産党の話をする人が多い。初対面の人といきなり政治がらみの話に面食らうのか。「はい、はい」と迷惑がられたり、間髪入れず「共産党は嫌い」「自分もシャットアウト。双方心がざらつく。政党支持について普段から闊達に議論することなど慣れていない。初対面が輪をかけて。セールスと混同されたり。しかし案外天候や季節、庭木や旬の食べ物、野球や新聞の話題、釣りゴルフ趣味の話であれば初顔合わせでも案外共感。きつとその後なら共産党や政治について率直な一言が聞けるかも。共産党の外交

経済、社会保障政策のどれをとっても国民の9割以上、圧倒的国民の支持を得ることのできる政治革新目標のはず。そう、現状はうまく理解されていないだけ。先のシャットアウトの人の心に響く接近と粘り強さと寛容の精神を發揮しよう。国民が真実をつかんだ時に、はじめて社会は大きく変革する。

日本共産党と後援会の学習決起集会

10月13日(月)

14:00 ~ 16:30

辰巳孝太郎衆議院議員
JA会館

主催 日本共産党和歌山県委員会
党県後援会

南畑さちよ議員の一般質問

産廃計画 新たな危険

住民らの調査で、産廃計画予定地に隣接する南側斜面、県の山地災害危険地区に指定されている地域で3か所の湧水が見つかりました。山口地区連合自治会は「産廃が埋め立てられると重さにより地下水が上昇し、斜面崩壊の可能性がある」と指摘。調査の実施と調査に市が関与するよう陳情していました。

南畑議員は、専門家も斜面崩壊の危険性を指摘していると告発、市の認識をただしました。山田丘危機管理局長は、南側斜面が「山腹崩壊や地すべりによって発生した土砂が土石流となって流出する恐れがある場所」と答弁しました。

渡辺忠広議員の一般質問

産廃計画地にオオタカ

渡辺議員は計画地に隣接する岩出市で国が準絶滅危惧種に指定するオオタカが木の上に巣を作っていることが京奈和道路建設に伴う国土交通省の調査で確認されたと紹介。滝畑の産廃計画がずさんなものだと批判し、「産業廃棄物を扱う事業者として詳細な調査実施の有無は資質が問われる」とのべ、市が事業者のどのような指導をするのか迫りました。

市民環境局長は自然動植物の保護について「事業に対し、状況に応じた動植物の保護を要望していく」と答えました。

また渡辺市議は、農業を市の基幹産業に位置付けることを求めるとともに、国が進める農業委員会の改廃、農協やJA中央会の実質廃止を批判し、市の市政をただしました。

市長は、「農業は命の源である食料を生産するかけがえのない基幹産業だ」と答弁しました。

